【KM-1】 挨拶・基調講演

（敬称略）

10 月 31 日(木) 10:00-12:30
司会：中村 孝(大阪大学)

◇主催者挨拶

◇来賓挨拶

◆基調講演

「 電子デバイス産業は異次元の成長段階に突入したのだ！

～シリコン列島ニッポンによる新たな国おこし～ 」

株式会社産業タイムズ社
取締役会長
泉谷 渉

[講演要旨]

世界を巻き込む半導体バトルの時代が本格到来している。日本政府も 4 兆円という異次元の補助金投入を断行しており、不退転の決意でニッポン半導体復活に向けて、総力を挙げている。AI が今後の半導体アプリの主役になる勢いであり、2030 年には、全半導体の６０％が AI 向けチップになるという予想があり、期待がかかるのだ。そして一方次世代自動車向けの半導体、電子部品もまた急成長の機運が高まっている。

今回講演では、北海道、東北、関東、中部、近畿、中国四国、そして九州に拡大する半導体関連の設備投資計画を最新取材をベースにリポートする。

[講演者プロファイル]

神奈川県横浜市出身。聖光学院中高等学校を経て、中央大学法学部政治学科卒業。

1977 年 株式会社産業タイムズ社に入社し、半導体担当の記者となる。以来 30 年以上にわたって第一線を走ってきた国内最古参の半導体記者であり、現在は産業タイムズ社取締役会長と特別編集委員を兼務する。

主な著書には『日本半導体 50 年史 時代を創った 537 人の証言』（共著・産業タイムズ社）、『日本半導体起死回生の逆転』、『次世代ディスプレイ勝者の戦略』、『半導体業界ハンドブック』、『電子材料王国ニッポンの逆襲』、『ニッポンの素材力』、『ニッポンの環境エネルギー力』、『シェールガス革命で世界は激変する』（以上、東洋経済新報社）、『これが半導体の全貌だ』、『これがディスプレイの全貌だ』（以上、かんき出版）、『日の丸半導体は死なず』（光文社）、『100 年企業～だけど最先端、しかも世界一』（亜紀書

房）、『自動車世界戦争』（東洋経済新報社）などがある。
2011 年～2013 年 社団法人日本半導体ベンチャー協会会長。現在、一般社団法人日本電子デバイス産業協会理事・副会長。

◆基調講演

「 先端技術総合研究所における研究戦略 」

三菱電機株式会社
先端技術総合研究所
副所長
西沢 昭則

[講演要旨]

三菱電機 先端技術総合研究所では、サステナブルな社会の実現を目指し、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー等の社会課題解決を目指した研究開発に注力しています。電子デバイス分野では、半導体デバイスのコア技術から材料・絶縁などの基盤技術まで広範囲な研究開発を行い、よりエネルギー効率の高い製品を実現、電力変換器の小型・高効率化でカーボンニュートラルの実現に貢献しています。本講演では、これらの研究開発戦略について、具体的な事例を交えてご紹介します。

[講演者プロファイル]

1997 年 4 月、三菱電機株式会社に入社、電気・電子機器の電磁ノイズ抑制技術の開発に従事。2011 年に先端技術総合研究所の電機システム技術部でグループマネージャーを務めた後、2013 年からは本社の開発業務部にて開発戦略企画に従事。
その後、2016 年 先端技術総合研究所のパワーモジュール技術部部長、2018 年 姫路製作所の xEV 製造部次長、2020 年 先端技術総合研究所の開発戦略部部長を経て、2023 年に同研究所の副所長に就任し、現在に至る。

◆基調講演

「 半導体製造装置業界の役割と将来への成長に向けて 」

東京エレクトロン株式会社
経営戦略室 室長
西村 和哲

[講演要旨]

過去・現在・未来における半導体産業の牽引役の変遷と、将来に向けた半導体及び当社が参入する半導体製造装置業界の展望、及び半導体製造装置業界へ期待されるであろう役割・当社を事例とした講じるべき将来に向けた戦略およびその課題について。

[講演者プロファイル]

1998年に東京エレクトロン株式会社に入社、以降、本社・工場中心にアカウンティング・ファイナンス系の業務を経験、2018年より経営戦略に携わり、2024年より室長（現職）。